

幼児の社会的スキルを測定する教師評定と行動観察者評定の関連¹⁾

岡村 寿代

広島国際大学大学院総合人間学研究所

杉山 雅彦

広島国際大学心理科学部

問 題

社会的スキルとは、社会的に受け入れられた学習性の行動であり、他人と効果的にやりとりし、社会的に受け入れられない反応を避けることを可能にするものである (Gresham & Elliott, 1990)。

社会的スキルを測定する方法の1つに、教師評定法がある。教師評定法は、評価が簡便であるため、社会的スキルの測定法として頻繁に用いられている。しかしながら、評価が、子どもと関わってきた経験や子どもの評判、課題をやり遂げる能力などの情報に影響されるといったことが指摘されている (Webster-Stratton & Lindsay, 1999)。

一方、もう1つの評定方法として行動観察法がある。行動観察法では、評価が、子どもの評判や課題の達成能力などに影響されにくいと考えられている。しかしながら、観察時間が限られているため、全ての行動レパートリーを観察することができないという指摘がある (Milfort & Greenfield, 2002)。このように、評定法が異なることによって、得られる結果に相違が生じることが予想される。従って、両評定法のどのような側面が関連しているのかを明らかにする必要がある。

Elliott, Gresham, Freeman, & McCloskey (1988) は、小学1年生から6年生の児童60名の社会的スキルを教師評定と行動観察によって評定し、両評定法の関連を検討している。その結果、行動観察者評定による「適切な働きかけ」と教師評定の「社会的働きかけスキル」、「協調スキル」とに中程度の正の相関が確認されている。このように、社会的スキルの基本的な面について確認した研究は数少なく、幼児を対象とした研究はほとんどない。そこで本研究では、4歳から5歳の幼児を対象として、幼児の社会的スキルを教師評定と行動観察により評定し、両者の関連を明らかにすることを目的とする。

方 法

1. 対象者

宮崎県内の保育所に在籍している幼児99名 (男子52名、女子47名; 平均年齢4.3歳, 標準偏差0.43)。

2. 調査内容

教師評定社会的スキル尺度: 渡邊・岡安・佐藤 (1999) によって標準化され、社会的スキル領域と問題行動領域から構成されている。本研究の分析においては、社会的スキル領域に関するデータのみを用いたため、以下に社会的スキル領域の尺度について記述する。社会的スキル領域 (25項目) の下位尺度は、社会的働きかけスキル (8項目)、自己コントロールスキル (5項目)、協調スキル (5項目)、教室活動スキル (7項目) の4尺度であった。評定方法は、「1. 全くみられない」から「5. 非常によくみられる」の5件法である。Cronbachの α 係数は、全ての因子において $\alpha=.80$ 以上を示し、社会的スキルと問題行動の関連については、社会的スキルの因子と問題行動の因子に中程度の負の相関が認められたことから、本尺度が妥当性を備えていることが示されている。

3. 行動観察

幼児1名につき自由遊び時間中に1日1セッション10分間の直接観察を実施した。行動観察された4つの行動観察カテゴリーとその定義は、Table 1に示している。分析は、10分間の観察時間を10秒1ブロックとして60ブロックに分け、働きかけと応答はイベントサンプリング法、協調行動と孤立行動はタイムサンプリング法を用いて分析した。ビデオ収録された記録は、2名の観察者によって分析された。2名の観察者は、同じ時間帯でコード化を行うために、10秒間隔でブロック数が吹き込まれている録音テープを再生して分析した。この分析方法は観察者バイアスを生じさせにくく、信頼性を確立できることがSuen & Ary (1989) により示されている。この分類の練習によって、観察者間一致率が80%を超えたところで本研究の行動観察者とした。なお、最終的な働きかけの一致率は82.5%、応答は81.3%、協調行動は93.9%、孤立行動は87.0%であり、本研究の一致率は満足できる一致であると考えられた。

1) 本研究にご協力下さいました保育所の園長先生並びに諸先生方、幼児の皆さまに心より御礼申し上げます。また、本研究の遂行において多大なご支援を賜りました宮崎大学教育文化学部教授の佐藤正二先生に深謝致します。

Table 1 行動観察カテゴリーと定義

働きかけ	言語的, 身体的に仲間に働きかける
応答	仲間の働きかけに, 身体的, 言語的に応答する
協調行動	積み木, ごっこ遊びなどで仲間と一緒に 協調して遊ぶ
孤立行動	仲間と一緒に活動には参加せず, 遊びもしない

Table 2 教師評定と行動観察者評定の相関 (男児)

	働きかけ	応答	協調行動	孤立行動
社会的スキル総得点	.30*	.23	.26	-.44**
社会的働きかけスキル	.22	.15	.32*	-.49**
自己コントロール スキル	.20	.22	.13	-.15
協調スキル	.18	.01	.48**	-.43**
教室活動スキル	.38**	.28*	.15	-.38**

* $p < .05$, ** $p < .01$ **Table 3** 教師評定と行動観察者評定の相関 (女児)

	働きかけ	応答	協調行動	孤立行動
社会的スキル総得点	.21	.43**	.08	-.20**
社会的働きかけスキル	.18	.38**	.26	-.30**
自己コントロール スキル	.25	.49**	.17	-.01
協調スキル	.03	.08	.31*	-.28
教室活動スキル	.23	.44**	.01	-.17

* $p < .05$, ** $p < .01$

結果と考察

教師評定と行動観察カテゴリーの各測度において, 性差が認められ (協調スキル; $t(97) = -2.54$, $p < .05$, 教室活動スキル; $t(97) = -1.93$, $p < .05$, 働きかけ; $t(97) = -2.41$, $p < .05$, 応答; $t(97) = -2.12$, $p < .05$), どちらも女児が高かった。従って, 相関は男女別に検討を行った。

まず, 男児の教師評定と行動観察者評定において相関が確認された (Table 2)。社会的スキル総得点と孤立行動とに負の相関がみられ, 社会的スキルの下位尺度に着目してみると, 社会的働きかけスキルに負の相関がみられた。

次に, 女児の教師評定と行動観察者評定の相関を Table 3 に示す。社会的スキル総得点と応答とに正の相関が認められ, 社会的スキルの下位尺度に着目すると自己コントロールスキルと教室活動スキルに正の相関がみられた。

このように, 教師評定と行動観察者評定の一部に統計的に有意な相関が認められたものの, 大半は低い相関を示していた。尺度間に低い相関がみられた結果を各評定法の特徴をふまえて考察したい。教師評定と行動観察者評定に含まれる社会的スキルの内容は, 両評定間で共有されたものが少なかった可能性がある。教師評定は, 社会的スキルを幅広くとらえており, 下位尺度にも一連の内容を示す多くの項目が含まれていた。一方, 行動観察で用いたカテゴリーは, より狭い範囲で定義されており, 行動が特定され, 限定的な性質を反映するものであった。従って, 社会的スキルをとらえる際の範囲と内容の違いが, 両評定の関連の低さを生じさせたと考えられる。

この結果をふまえて, 今後社会的スキルを評定する際には, 両評定法の特徴を理解して得られた結果の解釈をする必要がある。最後に, 男女差についてふれておきたい。本研究では, 男児において, 孤立行動と社会的スキルに負の関係がみられた。男児は, どれくらい仲間と一緒に活動し, 遊ぶことができるかが社会的スキルの高低に影響を及ぼしていることが示唆された。一方, 女児においては, 応答と社会的スキルに関連が認められ, 女児は, 仲間にとどれくらい応答できるかが, 社会的スキルの高低に影響を及ぼしていることが示唆された。これらの結果は, 基礎的な資料の1つとして提供できるだろう。

引用文献

- Elliott, S. N., Gresham, F. M., Freeman, T., & McCloskey, M. (1988). Teacher and Observer Ratings of Children's Social Skills: Validation of The Social Skills Rating Scales. *Journal of Psychoeducational Assessment*, *6*, 152-161.
- Gresham, F. M., & Elliott, S. N. (1990). *Social skills rating system: Manual*. Circle Pines, MN: American Guidance Service.
- Milfort, R., & Greenfield, D. B. (2002). Teacher and observer ratings of head start children's social skills. *Early Childhood Research Quarterly*, *17*, 581-595.
- Suen, H., & Ary, D. (1989). *Analyzing quantitative behavioral observation data*. Hillsdale, N. J.; Lawrence Erlbaum Associates.
- 渡邊朋子・岡安孝弘・佐藤正二 (1999). 幼児用社会的スキル尺度の標準化に関する研究 行動療法学会第26回大会発表論文集, 104-105.
- Webster-Stratton, C., & Lindsay, D. W. (1999). Social competence and conduct problems in young children: Issues in assessment. *Journal of Clinical Child Psychology*, *28*(1), 25-43.

— 2006.4.21 受稿, 2006.8.23 受理—

Teacher and Observer Ratings of Preschool Children's Social Skills

Hisayo OKAMURA¹ and Masahiko SUGIYAMA²

¹Graduate School of Integrated Human Sciences Studies, Hiroshima International University

²Faculty of Psychological Science, Hiroshima International University

THE JAPANESE JOURNAL OF PERSONALITY 2007, Vol. 15 No. 2, 243-245

The purpose of this study was to examine the relationship between teacher rating and objective observation for preschool children's social skills. Ratings were made for social skills of 99 preschool children. Results showed that boys' social initiation skills and isolation behavior had a moderate, negative correlation, and girls' self-control skill and response readiness had a moderate, positive correlation. The correlation between teacher rating and objective observation was relatively low. The range and content of social skills that two rating methods measured appeared to be different.

Key words: preschool children, social skills, teacher rating, observer rating